

これからも住み良い気良の里を目指して

# 景観百景 清流と緑の気良

気良地区は四方を緑豊かな山々と、気良川の清流が美しく、また大きな幹線道路もないことから、川の流れが響き渡る静かな山里です。人々は古くからこの里で暮らし、民俗的風習や田畑山林の景観を継承してきました。

郡上市では魅力ある景観の維持や創出に貢献する活動を行う地区を、「郡上市景観百景」として認定し、地域の活動を手助けしています。

気良地区では以前から、地区内の清掃、花木の植栽などの作業を精力的に行っています。また祭礼での神楽の奉納や伝統行事が脈々と継承されており、その祭礼の様子は景観の構成要素となっています。

今回の成果は、気良自治会が魅力ある景観の構成要素を再認識し、今後どのようにこの魅力ある景観を未来へ継承するかの道筋を、景観マニュアルとしてまとめることで、これからの気良地区の地域づくりの一つの目標とします。



明宝中央林道よりの眺望



大谷久須見城跡よりの眺望

この冊子は、郡上市景観百景認定及び活動支援事業補助金を活用して製作しました。

平成 26 年 3 月 気良自治会

# 明宝気良地区の景観を未来へつなぐ8か条

## ① 集落内の清掃に努めましょう

- ・地域一斉清掃作業のクリーン作戦を、今後も各組で継続的に実施し、美しい景観を守ります。
- ・井普請を精力的に実施し、用水路の機能の維持に努めます。

## ② 美しい農地を守りましょう

- ・気良地区の景観美の要素である農地を今後も維持し、耕作放棄地が増加しないよう、有効利用に努めます。
- ・農地保全の為、獣害対策を地区が一体となって検討します。

## ③ 集落内の景観を守りましょう

- ・集落を見渡すことや、気良川をブラインドのように遮蔽する支障樹木は、景観を損ねるだけでなく、獣の棲み処となり獣害の原因になります。今後地元民の理解を得ながら、整備に努めます。

## ④ 集落周辺の山林を整備しましょう

- ・集落周辺は植林が多く、距離も近い為、集落が狭く感じられ景観を損ねると共に、獣が近寄り易く獣害も増加します。今後は間伐や伐採に努め、集落周辺の景観向上に努めます。

## ⑤ 気良川をいつもまでも美しく

- ・清流気良川は、地区住民が最も親しみを感じる憩いの場であり、地区外の人々にとっても魅力ある場所です。魚などの生物が多く棲み、人々が集まる環境を今後も維持します。

## ⑥ 先人達の歴史を守りましょう

- ・神社や小さな祠の地蔵様や観音様は、先人達が気良の幸せを願って建てたものです。その尊い気持ちを今後も後世に伝えるよう、大切にします。

## ⑦ 気良地区の魅力を知ろう

- ・気良地区内には多くの魅力ある素材があります。身近な気良の魅力を知る為に健康増進を兼ねて、地区内を歩いてみませんか。「気良の里、見所ウォーキングマップ」を作製しましたので、地区の皆さんで気良の美しい景観を体感してみてください。

## ⑧ 気良地区の夢プラン

○景観百景ワークショップの話し合いで、景観向上の為の夢プランを提案してみました。これから皆さんで実現できるか考えてみてください。

- ・明宝中央林道から気良の眺望が楽しめる展望スペースの設置や樹木伐採
- ・気良ブランド米の開発
- ・花木の植栽
- ・休耕田を花畑に
- ・気良川シャワーライミング
- ・小水力発電の促進
- ・気良からの烏帽子岳登山

# 明宝気良地区の魅力ある景観と先人の足跡

① 鳥居宮跡 御輿岩

⑦ 西気良白山神社

③ 東気良白山神社

⑭ 奥の宮白山神社

### 白山信仰と神社

⑩ 楽河の五段の滝

⑪ 楽河の大滝

⑮ 烏帽子岳

⑥ 気良川公園

### 自然の美しさ

④ 中央林道からの眺望

⑧ 柏尾の棚田

### 山々と田園風景の美しさ

⑨ 田口平

⑫ 気良川と河岸段丘

磨墨生誕の地公園の桜

鎌倉街道

旅館くごの花桃

野口桜並木

野口気良川の桜並木

ウォーキングコース

田口公園の桜

⑬ 教如上人住居跡記念碑

② 千葉家のいろり

### 歴史の遺産

⑬ 宝暦義民碑

水上屋敷の梅、花桃

気良地区は、明宝地域の最高峰である烏帽子岳（1,625m）を源とする気良川流域の河岸段丘上に住居や田畑が点在し、山々と清流、自然豊かな環境の中で人々が暮らす静かな山里です。気良地区の谷間の地形は烏帽子岳に向かって北上することから、古来より飛騨への交通が発展せず、いわゆるどん詰り地形で現在でも幹線道路がないことから、自動車の騒音もなく里内には気良川の流れが響き、人々は静かな暮らしをしています。

気良という地名の由来は、中世の荘園制度の時代まで遡ります。和良から明宝にかけての荘園は気良庄（けらのしょう）と呼ばれていました。中心地は和良地域でしたが残留地名として現在の明宝気良地区にその名が残りました。

現在は多くの人々が気良地区南部に住み暮らしていますが、過去には北部にも人々が多く住んでいました。それを物語るのには現在柏尾にある光明寺で、その昔は北部の楽河にあり、今でも旧光明寺跡として史跡が残っています。また小倉組や宮原川を遡った宮原組にも人々が暮らしを営んでいました。